

第13回総合計画策定幹事会 会議録

日	時	平成21年5月20日(木) 午前9時00分～午前10時30分	
会	場	庁議室	
出	席	者	大崎幹事長、加藤幹事、山本幹事、進藤幹事、小嶋幹事、林幹事、入江幹事、浅見幹事、唄中幹事

[議事]

1. リーディングプロジェクトについて

事務局から説明。

《意見等》

- プロジェクト会議での意見としては、草津川廃川敷地や西友跡地、野村団地といった未利用地をどうしていくのか、今の経済状況を鑑みると、全て利用していくことはできるのか、暫定利用として木を植えて公園として整備していくなど、様々な提案がされています。「うるおい」や「せせらぎ」があるまちにしていこうという意見でした。
- ・これは、基本計画体系図の4つの柱である施策の基本方向の中から、最重点施策として取り組むべき施策ではないのか。それならば、リーディングではなく日本語で表現しないと施策体系が日本語であれば合わせるべきではないか。施策の中にあるものを、リーディングプロジェクトにするのではないのか。そうでなければ、リーディングプロジェクトは理想だけに終わってしまう。
- この10年間、市を引っ張ってくれるような施策を考えているので、リーディングとした。施策体系は縦割りとなっているが、これは施策の横刺しをして、それを連携させることにより、10年間引っ張っていくことができると考えます。単にハード面だけではなく、ソフト面からも考えられるものです。
- ・これは、新たに何かを作るというものではなく、今ある施策の関連するまとまりをリーディングプロジェクトとすることで、計画を引っ張っていくのか。そうすると、この施策体系とは少し意味が違ってくる。市民にとっては、施策体系図よりもリーディングの方がイメージし易いかもしれない。
- 考え方はその通りです。市民に対してわかり易い形で示したもの。例えば、中心市街地の活性化を考えると、1つの担当が考えるのではなく、複数の担当に跨るので、関係するところが協議し、プロジェクトをどう進めていくのかを検討することになる。
- ・プロジェクトは誰がマネジメントするのか。
- まだ、プロジェクトの内容も決まっていませんので、どこがするかは決まっていない。これまで、総合計画に具体的に目標値が記載されていなかったし検証もしてこなかった。しかし、これからはしっかり記載することによって、マネジメントし、総合計画に沿って行政運営していくことになる。

- ・それは、総合計画に載っていない事業は一切しないということか。状況が変わった時に、突発的に必要不可欠な事業が出てくる場合はどうするのか。そうなると、将来考えられることを全てあげておかないといけない。条例で規定することまで考えているのか。
- 市長の議会答弁では、そう言っていました。多治見市のようなものになると。計画の名称と予算の名称が異なるので合わせていこうと。もし変えるのであれば、議会等にかけて計画の変更をしなければならない事になります。基本計画は3年後に見直すことになるので、とりあえず3年を見据えた事業となります。議会の意見も聞かないといけないが、施策までは総合計画に載せる予定です。また、条例までは今は考えていません。
- ・予算の制約がある財政運営計画と基本計画をどのようにリンクさせるのが問題であろう、その整合が難しい。
- ・複数の施策を入れ混ぜて括るのであれば、評価はどうやってするのか、評価はどちらですのかということにならないか。リーディングと施策体系別でも両方で評価することにならないか。
- 指標化できないものもあるし、それは検討中です。
- ・この施策体系図は、施策の中には市として意思決定できないものも含まれている。国県の事業も入っている。整理した方が良いと思います。国県の事業を載せてしまうと、市が率先してその事業を進めていくようにとられてしまう。あくまで主体となるのは国県ですから、そこについては注意してもらいたい。
- その辺りは、こちらでもわからない事もありますので、各課照会をしてから整理していきたいと思います。
- この施策体系図の中の、28個ある施策分野の括りが、本当にこれで良いのか再度確認をいただきたい。あくまでこれは案の段階ですが、この施策分野に上がっている分野レベルが、分野によってはバラバラであるとの意見がありますので、区分けは再整理したいと思っています。

以 上